



ほっとちゃん

地域福祉のための情報誌

社協だより

幸せな社会

おかげ様で

創刊200号

目次

- ② 新年のご挨拶
- ③ 第3期地域福祉実践計画評価
- ④ 地域交流サロンを運営する「あじさい亭」が
第44回道新ボランティア奨励賞を受賞
- ⑤ 幸せな社会200号に寄せて /
成年後見制度講演会 / 居場所「シエスタ」
- ⑥ 企業・団体の力を地域の力に！
- ⑦ 寄付報告 / 福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板

「幸せな社会」創刊



1965 (昭和 40) 年 11 月 15 日
創刊号発行

当時は、ボランティアさんの協力によって社協だよりの印刷・製本・梱包が行われていました。

100号記念特集



1996 (平成 8) 年 1 月 1 日
100号発行

幸せな社会100号を記念して、社協の歴史を思い出の写真とともに振り返っています。

誌面がカラーに



2010 (平成 22) 年 7 月 1 日
158号～

見やすく・わかりやすい社協だよりを目指し、誌面の一部がカラーになり、現在の形に近づく。



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2021

1月

No. 200

新年のご挨拶



江別市共同募金委員会会長
まさよし
武田 正義

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
昨年10月から12月の期間、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動を全市的に展開いたしました。大変厳しい経済情勢の中、市民の皆様をはじめ企業、福祉団体・施設等からたくさん募金が寄せられましたことに心から感謝申し上げます。
本会においては予てより、助けあいと市民相互の関わりづくりの機運を醸成することにより、地域福祉の推進を目指して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の拡がりは、人と人との距離を取り、接触する機会を

減らすことを求めてきております。しかしながら、同時にそうした状況により、私達の多くが日常的にも誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さにあらためて気づかされもしました。
共同募金はこれからも、これまで地域で築かれてきたつながりを維持するために取り組まれている福祉活動を支え、市民の思いやりを届ける運動を展開して参ります。
今年も、市民の皆様のご協力をお願い申し上げますとともに、健やかで明るい一年になりますようご祈念申し上げます。



江別市社会福祉協議会会長
つとむ
佐藤 功

皆様、新年明けましておめでとございます。
この一年、皆様にとってご健康で明るい日々でありますようお願い申し上げます。
地域における生活や福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、市民が暮らしていくうえでの課題は、複雑・多様化しております。
特に、家庭・家族の介護力の低下、市民同士のつながりや絆の希薄化などに加えて、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者世帯などの増加などにより社会的孤立や生活困窮、権利擁護や災害時の支援体制の整備といった様々な課題が浮き彫り

になり、より一層、地域福祉の在り方が問われる時代となっております。
社協としては、市はじめ関係機関、団体と連携・協働して地域共生社会の実現に向けた地域づくりのため、相談支援事業や福祉サービスの推進に努めてまいります。
今年、社協の第4期地域福祉実践計画の2年目にあたります。計画が目指す「支え愛・助け愛のまちえべつ」の実現に向け、役職員一同努力を傾けていきます。
本年も、市民皆様の特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共同募金 ~ご協力ありがとうございました~

中間実績報告 (令和2年12月10日現在)

赤い羽根募金 **4,558,057円**
歳末たすけあい募金 **1,497,535円**

最終実績は次号(4月号)で報告します。

助成団体募集

市内の福祉充実に寄与する

令和3年度福祉事業が対象

江別市共同募金委員会では、福祉活動を目的とする民間の福祉団体に必要な費用の一部を助成しています。助成の対象は市内の福祉充実に寄与する令和3年度の福祉活動・事業です。詳しい募集内容は、社協のホームページで確認ください。

締切 令和3年1月15日(金)

詳細 江別市共同募金委員会

☎3385・1234



市へ令和3年度社協事業への支援を要望



昨年11月19日、社協正副会長が三好市長(写真左)を訪問し、令和3年度の社協事業への支援について要望書を提出しました。
愛のふれあい交流事業、保育所運営への補助、江別市総合社会福祉センター施設整備への支援及びくらしサポートセンターえべつの充実などを重点とする支援を要望しました。

生活困窮者の相談窓口 くらしサポートセンターえべつ『くらサポ』では、経済的に困窮している方、失業された方、引きこもりやニートで悩んでいる方など生活上の悩みを抱えている方の無料相談を行っています。

▶くらサポ ☎375-8987 相談受付：平日8：45～17：15 (年末年始は休み)

第3期地域福祉実践計画5カ年の全体評価及び令和元年度最終評価

第3期地域福祉計画5カ年の全体評価

基本計画の主な内容	評価点
基本計画1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 / 広報誌の発行、成年後見実施機関の運営など13事業	3
基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり / ボランティア活動の相談・登録・活動先紹介など5事業	4
基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 / 愛のふれあい活動、共同募金運動への協力など5事業	4
基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成地域福祉活動者研修会、いきいきシニアスクールなど5事業	3
基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供 / 除雪サービス、給食サービス、福祉機器の貸与など7事業	4
基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり / 行政との連携、総合社会福祉センターの運営など13事業	4

評価方法：個別事業を5段階で評価した後、基本計画ごとに平均点を算出(四捨五入)したものを評価点としています。

5～4点	予定を上回り推進している
3点	予定どおり推進している
2～1点	順調に推進されなかった、全く推進されなかった

合同部会

「新規事業に積極的に取り組み
着実に歩んだ5年間」

社協合同部会が第3期地域福祉実践計画(平成27年度～令和元年度)の5カ年全体の進捗状況を評価しました。

6基本計画で、4計画が4点(5点満点)、48事業全てが3点以上で、この内16事業が4点の評価となり、全体事業数の約3割をしめました。これは、5カ年を通して新規事業や事務事業改善に取り組み、成果を挙げたことが評価されたものです。特に、生活困窮者自立支

援事業や成年後見支援センターの開設など、生活課題に対応した総合的な相談支援や、権利擁護体制の整備などが高い評価となりました。

なお、全体評価に先立ち行われた元年度の評価では、新型コロナウイルス関連の特例貸付の実施や地域サロン等を紹介する「通いの場」情報誌の作成など全体の約6割に当たる28事業が4点の評価となり、順調に事業が推進された1年と評価されました。

令和3年度採用 季節保育所保育士募集

社協では、令和3年度採用の保育士を募集します。経験豊富な保育士が丁寧に業務をサポートします。ご応募をお待ちしています。

【応募資格】 左記の要件を全て満たす方

▼保育士資格を取得している方

▼自家用車で通勤可能な方

【勤務先・採用人数・雇用期間】

▼北光保育園(美原1445) 通年保育士1人

令和3年4月1日～令和4年3月31日

▼野幌季節保育所(西野幌157) 季節保育士1人

令和3年4月1日～令和3年11月30日

※次年度(雇用契約更新の可能性有り)

【業務内容】 農村地域の子育て支援の一環として運営している保育園での保育業務に従事

▼北光は2～5歳児10人程度の混合クラスを1クラス担当

▼野幌は児童全員(2～5歳児8人程度)を他の保育士とともに担当

【給与・保険など】 初任給月額16万円以上(3年制短卒の場合。学歴及び職歴に基づき決定、通年は昇給有)、期末手当、超過勤務手当、通勤手当支給、健康・厚生年金・雇用・労災保険加入、有給休暇10日、その他勤務条件は社協規程による。

【採用試験・日時・会場】 書類選考及び個別面接、令和3年2月下旬予定、江別市総合社会福祉センター(錦町14番地87)

【応募方法】 令和3年1月6日(水)から募集案内を社協事務局で配布及びホームページなどに掲載、2月10日(水)までに顔写真添付の履歴書(職歴を詳しく記載)及び保育士資格取得(取得見込可)を証明する書類のコピー郵送(10日消印有効)、または持参(月～金(1月11日を除く)の午前8時45分～午後5時15分)

【備考】 ハローワークなどでも求人募集

【応募・問合せ先】

詳細は、社協(☎3805・1234)へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

お墓新規建立・リフォーム・移転

見えづらい文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・追加文字彫刻・お墓のお掃除 ☆お墓のことならどんなことでもお気軽にご相談下さい。

★「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱

TEL (011) 383-1232



(有) 上光石材工業

本社・展示場 江別市牧場町1-21 工場 江別市工業町21-33

医療法人 友愛会 友愛記念病院

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台46番地1

TEL(011)-383-4124 http://www.yuainen.or.jp/

訪問看護ステーション ゆうあい

お気軽にご相談ください。TEL(011)-380-5678

【貸付資金】 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件などの詳細はお問合せ下さい。【特別生活資金】 燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】 高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】 一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

高齢者交流サロンを運営する「あじさい亭」が
第44回道新ボランティア奨励賞を受賞



社協に受賞の報告のため来所した「あじさい亭」船戸實会長(右)と内海信雄副会長(左)、中央は佐藤功社協会長

船戸会長は「利用者、スタッフ双方が誇れる最高の荣誉。11年間、補助や助成に頼らずに地域と利用者に支えられてよく頑張ってきた」と語る。

高齢者交流サロンを運営するNPO法人あじさい亭が第44回道新ボランティア奨励賞を受賞しました。

サロン・あじさい亭(大麻東町15)は2009年に空き店舗を改装して開業して以来、地域高齢者に喜ばれる憩いの場づくりとして、パソコン教室、麻雀大会、喫茶、食事会などを次々と企画して

実施してきました。

これまでの累計利用者は延べ6万3千人に達しています。

現在はコロナ禍で、感染防止を最優先とした運営をしているため、広報掲載時には休業している可能性がります。開業の可否は都度ご確認下さい。

☎375・0453

受賞メッセージ



受賞を誇りに
あじさい亭の灯を消さない

特定非営利活動法人 あじさい亭

会長 船戸 實

「冬何しているの」「冬も逢いたいね」「お茶したいね」「誰かパソコン教えて」、毎年秋深まると、あじさいパークゴルフ場での「つばやき」です。このパークゴルフ場は2001年春、地域の仲間7人で「パークゴルフ場を手作りする会」を立ち上げ、「このまちの三世代が集う癒しの広場をつくろう」と手弁当で作り出した「アウトドアのたまり場」です。

麻雀会、カラオケ、川柳会、笑いヨガ、囲碁、糸あそび教室などの交流事業を企画実施し、現在に至っています。

この間、2010年6月には特定非営利活動法人の認証を受け、組織と体制を確立し、事業と経理の明瞭化を図って各種事業を展開してきました。その結果、健全な財政運営の下で、この11年間で6万3千人の方々へ交流や健康づくり、仲間づくりを楽しんでいただきました。

しかし、今あじさい亭は、新型コロナウイルス禍に遭遇し、2020年の2月から6月までの間で断続的に100日間の臨時休業を余儀なくされました。ようやく第2波が収束しかけた7月2日から各業界の「コロナ感染防止対策指針」などを参考に、万全の防止対策を整えてパソコン教室や麻雀会など、一部の営業を再開しましたが、三密(密接・密着・密閉)対策が難

しい食事会やカラオケなどは営業再開が出来ず、利用者数は10月末現在、昨年比で67%減となっています。この原稿を執筆中の11月17日、道知事は「コロナ感染警戒レベル4相当」を発令したので、理事会を開き「感染リスクの回避は困難、11月20日から臨時休業とする、再開時期は未定」と決定し、休業に入っています。

当法人は、このような厳しい経営環境下ですが、この度の歴史と伝統のある「道新ボランティア奨励賞」の受賞を誇りに、これからも地域高齢者の健康づくりに真に役立つ「たまり場づくり」を目指します。併せて、この「奨励賞」の応募に当たって、ご推薦を頂いた江別市社会福祉協議会様の温かい応援に感謝いたします。

「コロナ禍の終息の目処は立っていませんが、私たちは、貴重な会員会費や、今回、道新様からお預かりした「奨励助成金」などを家賃等の財源に充て、耐え忍び何とか生き残り、素晴らしい仲間たちと知恵を出し合い「ふれあい交流サロンあじさい亭」の灯を灯し続ける決意です。

社協だより 「幸せな社会」

『幸せな社会』200号に寄せて

広報編集委員会委員長 真島紀恵子



前号の編集会議後、一人の委員が「次号は200号ですわね」と言われて、新型コロナウイルスに気をとられていた一同はびつくりしたのです。

改めて江別市社協の“できごと”を読むと、第1号は昭和40年に第1回江別市社会福祉大会が開かれた年に、『幸せな社会』と名付けて江別の福祉情報誌が誕生しています。福祉の意味は幸福とありますから実にふさわしい名称だったと思います。

以後、急激に都市化していった江別に50年を超える年月にわたり、福祉情報を届けてきた先輩委員の方々の労に感謝いたします。

只今は7名の委員で事務局の草案を「読みやすく・明るく」を願い、丁寧に話し合っており、内容を決めていきます。わずか8頁の情報誌ですが各人の個性が重なり、私にとって嬉しいひと時です。

200号の節目の時、世界中が新型コロナウイルスで揺れています。過去にも疫病が流行しましたが必ず終わると歴史が語っています。信じて私たちは『幸せな社会』を201号へつなげていきます。

成年後見制度講演会

落語を通じてエンディングノートの活用や成年後見制度を楽しく学ぶ



伝えたい思いや遺産などについて、自らのメッセージを伝えるエンディングノートの活用を勧める生島清身さん。

成年後見制度の理解を深めてもらおうと社協・市成年後見支援センターは、11月8日(日)江別市民会館小ホールで、成年後見制度講演会「落語で学ぼう！成年後見制度」を開催し、65名の市民が参加しました。

講演会では、「天神亭きよ美」の高座名で社会人落語家としても活動している行政書士の生島清身(いくしきよみ)さんによる遺産相続をテーマにつくった創作落語「天国からの手紙」を披露していただき、随所に笑いをまじえながら遺言書の大切さやエンディングノートを活用した人生を見つめ直す前向きな終活を勧めました。

また、成年後見制度についても「法定後見制度」と「任意後見制度」の違いなど、制度内容についてわかりやすく解説いただきました。

居場所「シエスタ」

「ひきこもり当事者・家族向けカフェ開催」体験談や趣味の話で交流



社協くらしサポートセンターえべつでは、札幌を拠点に活動するNPO法人レター・ポスト・ラウンド相談ネットワークが主催する、ひきこもり当事者や家族向けのカフェを昨年に引き続き共同開催しました。

今回は居場所「シエスタ」という名称で開催。これは昼休憩を意味し、「いま人生のシエスタ中」と思っただけに参加してもらいたいという願いが込められています。昨年の当該事業に参加された方が名付け親です。

内容としては、ひきこもり経験のある方からの体験談をお聞きした後、フリートークの時間を設け当事者や家族、関係機関による交流を行いました。

毎回15名前後の当事者と家族が来られ、それぞれの立場での思いや、お互いがどう向き合ったほうがよ良かったのかなど真剣な意見交換がされる一方、趣味の話で盛り上がる場面もあり、参加者からは「来年も開催してほしい」との声が聞かれました。

地域貢献活動

企業・団体の力を 地域の力に！

(株) ゆい

9月6日・13日 社協が運営する保育所内に、ウイルスや雑菌の繁殖を防ぐ光触媒コーティングを実施していただきました。

(公社) 札幌東法人会

9月17日 コロナ対策の支援金として社会福祉基金へ寄付いただきました。

えべつカラオケ振興会

9月17日 第5回えべつカラオケ大会の益金を社会福祉基金へ寄付いただきました。

江別市高齢者クラブ連合会女性部

10月8日 会員による「ご縁募金」を実施し、募金で購入した介護用ベッドを寄贈していただきました。

会員募集

中途失聴・難聴者の会 **みみずくし**



私たちの多くは、若い頃に病気などで難聴になったり、人生の途中で耳が聞こえない・聞こえにくくなった人の集まりです。

今はコロナ禍で外出を自粛し、家に引きこもりがちです。こんな時こそ同じ仲間とおしゃべりをして不安や悩み、困りごとの情報交換をしませんか。

日常生活に少しでも笑顔を取り戻し、楽しいサークル活動ができれば嬉しいです。出会いをお待ちしております。

聞こえや言葉に不安があっても心配ありません。手話・要約筆記(文字で書いて伝える)など対応できます！

- (例 会) 月1回～2回
季節毎に楽しい会を計画
- (場 所) 江別市総合社会福祉センター
- (会 費) 月300円
- (問合せ) 椎野 (しいの)
FAX 011-381-1532

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』 受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに
“頑張る人”を応援致します

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局

〒069-0832
江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所
特別養護老人ホーム えぞりすの杜 ☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かっこうの杜 ☎391-9111
ショートステイくまげら ☎391-9111
ケアプランセンター かっこうの郷 ☎380-1244
小規模保育施設 ふくろうの森 ☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス ☎384-2280

損害保険・生命保険代理業



商号：有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

☎0120-74-0433

雪の処理情報誌 市内の除排雪などを行う事業者一覧を掲載する「えべつ雪の処理情報誌 2020-21年版」を発行しました。情報誌は社協ホームページで閲覧できます。ホームページの閲覧は、【江別市社協】で検索→トップページ【お知らせ】「えべつ雪の処理情報誌 2020-21年版」を作成しました。をクリック。

悩みごとテレホン相談

- ① 家庭生活の諸問題に関する相談
- ② 江別家庭生活カウンセラーグループ
- ③ 江別市家庭問題研究会

にここ相談室

- ④ 家庭生活の諸問題に関する相談
- 江別市家庭問題研究会

認知症の悩みごと相談

- ⑤ 認知症の悩みごとに関する相談
- 江別認知症の人の家族を支える会



ボランティア 電話相談

無料

悩んでいる方の良き隣人として社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聴きします。

なやみゼロ

☎ 389-7830 相談時間 10時～15時

- ▼チャリティ・イベントの益金・売上など
- えびっカラオケ振興会 50,000円、江別市女性団体協議会・野幌地区女性団体協議会 16,795円
- ▼つもり募金
- 道央農業協同組合江別支店 260円、セイコーマート豊幌 131円、セイコーマートやよい 619円、レストランアカギ 1,865円、マキシンドルパ 834円、五丁目花寿し 2,069円、北海道信用金庫五丁目支店 2,366円、青年センター 597円、林数男商店 608円、ビューティサロン毛内 12,405円、花仙湯 837円、清美湯 2,060円、松乃湯 241円、ホクレンショップゆめみ野店 5,647円、道央農業協同組合野幌支店 457円、北海道信用金庫野幌支店 295円、セイコーマート東野幌店 858円、とがし小児科 1,679円、片山内科胃腸科 1,069円、コミュニティストア山田 1,163円、早川薬院7丁目店 2,990円、千歳屋製菓野幌支店 7円、東野幌体育館 1,333円、パークゴルフ練習場 685円、煉化もち 1,355円、大麻出張所 1,23円、大麻体育館 1,417円、大麻公民館 1,369円、池永クリニック 4,

社会福祉基金

令和2年9月1日～11月30日 (敬称略・順不同)

善意のご寄付
ありがとうございました

一般寄付金

- 093円、ホクレンショップ大麻北町店 6,918円、フレッシユまるさん 699円
- ▼コロナ対策支援金として
- 公益社団法人札幌東法人会 100,000円

趣旨に賛同して

- フレンドサークル 10,000円、東インターゴルフクラブ 18,150円、江機会 10,000円

チャリティ・イベントの益金・売上など

- 江別美術協会 37,220円
- ▼ご縁募金
- 江別市高齢者クラブ連合会女性部 250,000円

災害義援金

- ▼令和2年7月豪雨災害義援金(共募事務局受付分)
- 野幌松並町自治会 10,000円

社協会長
おじゃましました

- 9月 江別カラオケ振興会チャリティ(寄付金受領)、自由民主党江別支部政経セミナー
- 10月 江別市高齢者クラブ連合会「女性の集い」(寄付金受領)、社会を明るくする運動江別地区実施委員会講演会、江別市社会福祉審議会
- 11月 法人役員研修、令和3年度予算要望

社協新役員・評議員の
お知らせ

【監事】令和3年度定時評議員会の終結の時まで
大原嘉弘(江別市自治会連絡協議会)

【評議員】令和3年度定時評議員会の終結の時まで
廣瀬俊行、落合英機(江別市自治会連絡協議会)、東海林艶子(江別市赤十字奉仕団)磯田亨、高橋俊文(江別市民生委員児童委員連絡協議会)、山田郁美(江別地区ことばを育てる親の会)、千葉誠(江別市教育委員会)

福祉センターからの
お知らせ

開館日時

- ① 曜日 9時～17時
- ② 火～日曜日 9時～21時
- ※月曜日が祝日の日は、休館します。火～日曜日は、祝日も開館しています。

1～3月 休館日

- ▽年始休館 1月1日(金)～3日(日)
- ▽通常休館 1月11日(月)



江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

〒069-0801 江別市中央町29番地の33 (街)アスカ印刷 内 事務局 TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)アスカ印刷	(有)ア・ノ 研究社
笹岡印刷(株)	(株)のつぼる印刷	(有)トラスティプリント
藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷	(有)くらしの新聞社 賛助会員

JR野幌駅前 TEL382-3483

(医) 英生会 野幌病院

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のつぼろ	TEL 381-1133
老健のつぼろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のつぼろ	TEL 381-7877
訪問リハビリテーション科	TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

7 社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。



カトレア健康倶楽部



カトレア健康倶楽部は、代表の赤田征^{いさお}さんが認知症サポーターとして活動する中で、サポーター仲間やご近所の方と、認知症・介護予防の体操クラブとして立ち上げました。活動の様子は口コミで広がり、3年目の今では毎回10名ほどの方が通って来られています。

『E-リズム シニアのらくらくイス編』のDVDに合わせて身体を動かすと、全身がポカポカしてきます。コロナ対策のために途中で換気をして冷たい空気が入ってきても大丈夫！DVDの合間の休憩時間は、当初は水分補給のために設けたものでしたが、ご近所同士の集まりとあって、楽しい“しゃべり場”に。コロナ禍の現在は、マスクをして距離をとって会話しています。赤田さんは、おしゃべりも認知症予防に効果的と考えていて、自然に生まれたこの交流の時間をとても大切にしていると話してくださいました。

開催日 / 毎週木曜日 10時00分～12時00分
 場所 / 大麻西地区センター(大麻沢町 26-2)
 参加費 / 1回 20円
 お問い合わせ / ☎ 386-5096 (代表 赤田)

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します



オカリナ同好会「クオーレ」

「心」の響きを 高齢者施設の皆様へ

昨年、江別市ボランティア団体連絡会に仲間入りしたオカリナ同好会「クオーレ」は、平成20年に対雁自治会で行事の一環として設立された団体です。団体名の「クオーレ」の由来は、イタリア生まれのオカリナに敬意を表してイタリア語で「心」を意味しています。

活動は、高齢者施設などを訪問してオカリナ演奏を披露しています。オカリナは土から生まれた楽器で柔らかな優しい音色で、合奏はきれいに共鳴したときの気持ちよさが醍醐味。自分たちで楽しんで、聞いている皆様も喜んでくれています。

これからも素朴な響きに魅せられたメンバー18名と共に「心」をお届けできるように練習を重ねていきたいと代表の西村さんは語っています。



広報編集委員会副委員長
三橋 満和子

広
報
編
集
委
員
会
副
委
員
長
三
橋
満
和
子

謹んで新年のお祝いを申し上げます。
 昨年は「コロナ感染症」一色の年でした。収束にはなかなか至りませんが、少し明るい兆しも見えてまいりました。それはワクチンが開発され、多くの方が接種できることに現実味を帯びてきたからです。
 しかしながら、これまで当たり前であったことが当たり前でなくなり、前でない状態がまだまだ続いているのが人と人との「結び」繋がり「支え合い」をどのように配慮しながら続けていくか、とても考えさせられます。この様な中ですが、各自自治会で行われます愛のふれあい交流事業やボランティア活動など地域に密着した情報を提供してまいります。
 おかげ様で「幸せな社会」も200号という節目を迎えることができました。市民の皆様温かい眼差しがあったものと感謝しております。これからも地域の情報誌として、きめ細やかな情報をお届け出来よう努力してまいります。本年もよろしくお願いたします。



編集後記



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています